

4 / 21 JR関西本線（加茂以東）沿線地域公共交通活性化協議会

「相楽東部地域の公共交通政策について」

笠置町・南山城村・和束町・京都府

報告第1号 令和7年度実施事業について

報告第2号 令和7年度収支決算について

協議第1号 令和8年度事業計画（案）について

協議第2号 令和8年度暫定収支予算（案）について

報告第3号 令和8年度「『交通空白』解消等リデザインプロジェクト」の申請状況について

報告第4号 地域公共計画改定に向けた進め方および取り纏めの方向性について

協議第3号 計画改定及び実証事業に係るプロポーザルの実施について

- ① 学生への公共交通利用促進を目的としたチラシの全戸配布
- ② 広域バスと関西本線を組み合わせたPR動画の作成
- ③ ラジオを活用した公共交通啓発
- ④ 相楽東部広報紙「れんけい」における公共交通特集の掲載

② 広域バスと関西本線を組み合わせたPR動画の作成

広域バス + 関西本線のPRとなるような動画を作成。



③ラジオを活用した公共交通啓発

ラジオ番組で、10分間宣伝。

・ラジオで「広域バス」や「関西本線」を啓発

【実施場所】

広域バス（道の駅）、関西本線（笠置駅・大河原駅）



KBSのHPにて掲載



報告第1号 令和7年度実施事業について

報告第2号 令和7年度収支決算について

協議第1号 令和8年度事業計画（案）について

協議第2号 令和8年度暫定収支予算（案）について

報告第3号 令和8年度「『交通空白』解消等リザインプロジェクト」の申請状況について

報告第4号 地域公共計画改定に向けた進め方および取り纏めの方向性について

協議第3号 計画改定及び実証事業に係るプロポーザルの実施について

報告第1号 令和7年度実施事業について

報告第2号 令和7年度収支決算について

協議第1号 令和8年度事業計画（案）について

協議第2号 令和8年度暫定収支予算（案）について

報告第3号 令和8年度「『交通空白』解消等リデザインプロジェクト」の申請状況について

報告第4号 地域公共計画改定に向けた進め方および取り纏めの方向性について

協議第3号 計画改定及び実証事業に係るプロポーザルの実施について

報告第1号 令和7年度実施事業について

報告第2号 令和7年度収支決算について

協議第1号 令和8年度事業計画（案）について

協議第2号 令和8年度暫定収支予算（案）について

報告第3号 令和8年度「『交通空白』解消等リザインプロジェクト」の申請状況について

報告第4号 地域公共計画改定に向けた進め方および取り纏めの方向性について

協議第3号 計画改定及び実証事業に係るプロポーザルの実施について

報告第1号 令和7年度実施事業について

報告第2号 令和7年度収支決算について

協議第1号 令和8年度事業計画（案）について

協議第2号 令和8年度暫定収支予算（案）について

報告第3号 令和8年度「『交通空白』解消等リデザインプロジェクト」の申請状況について

報告第4号 地域公共計画改定に向けた進め方および取り纏めの方向性について

協議第3号 計画改定及び実証事業に係るプロポーザルの実施について

■ 計画申請書

- ・別添資料の申請書案を作成。
本協議会での内容確認を経て、国あて提出予定。

■ 計画改定スケジュール

- ・実態調査を8月までに完了できるようにスケジュールを作成。

【青色】運輸局・実証運行 【水色】法定協 【橙色】計画更新

年	8										9					
月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	
運輸局 への 手続き	空白解消 補助申請	実証運行も兼務		【8月末✕】 変更登録申請				R8.10~R9.1【実証】 「交通空白」緊急対策事業							【実装】 ✕R9.6 フィーダー 変更申請 R9.4~10, R9.10~R10.10	
法定協		プロ ポ 事業者 決定	実態調査		計画作成			中間案 完成		パブ コメ	最終案 完成					
		法定協		法定協		法定協		法定協		法定協	法定協				法定協	

<関西本線(加茂以東)沿線地域公共交通計画 現行計画の記載>

目指すべき
地域公共交通の将来像

暮らして楽しい、訪れて楽しいまちづくり「双楽」を支える「相楽東部『おでかけ』システム」の実現

計画内容 (一部抜粋要約)

地域と公共交通の問題点

都市人口構造
人口が急速に減少しており、特に年少・生産年齢人口の減少が著しい
自家用車への依存が高い一方、自家用車の運転が困難な高齢者が増加

総合病院や商業施設、高校がなく、地域外施設を利用

木津・京都方面への移動が不便

公共交通
鉄道駅の利用環境、待合環境が悪い（陸橋、未改修のトイレなど）
人口減少により公共交通利用者が減少
⇒ J R線が減便されるなど、公共交通の維持・存続が困難に
地域内交通の情報発信不足。来訪者の利用促進につながらない

地域からの声
住民 自宅からバス停までが遠い
自分でクルマを運転できなくなる将来は公共交通機関が必要
利用者 地域内から乗換なしで木津まで直行する公共交通がほしい
事業者 **ドライバー不足・高齢化**

基本方針①

① 減便からの回復を目指し、J R 関西本線沿線全体の公共交通サービスを改善することで利用者を増やす

①-1 駅及び駅周辺環境整備

①-2 交通結節点における接続性の確保と改善

基本方針②

② 高校生・高齢者が自家用車に頼らずに通学・通勤・買い物・通院ができ、「健幸」に暮らせる地域へ

②-2 地域間幹線バス路線の再編（奈良交通・和東木津線）

②-3 地域内バス路線の再編（笠置町循環バス）

②-4 相楽東部広域バスの運行展開

②-5 地域内交通の加茂駅、木津駅への乗入れ

基本方針③

③ まちづくりと連携し、駅や拠点バス停での乗継利便性や待合快適性を高め、安心感があり立ち寄りたくなる拠点をつくることで、地域内外の交流を促進

基本方針④

④ 情報発信の強化やMaaSの導入等によって、公共交通の分かりやすさ、使いやすさを向上させ、特に観光での移動を便利で快適にする

④-4 総合時刻表の作成・配布

基本方針⑤

⑤ 公共交通サービス改善によって「おでかけ」したくなる地域とすることで、コロナ禍を乗り越え、人口減少社会においても公共交通を持続可能とする

⑤-1 交通空白地有償運送の拡大と担い手確保

将来目指したい交通体系（案） [関西本線を基軸とする部分]

『JR関西本線』と『相楽東部広域バス』がダイヤを相互に補完し合っており、**情報・料金・バリアフリー等の面で「誰もが垣根なく利用」**でき、
3町村から（買い物・病院等拠点施設が集中する）加茂、伊賀上野へ快適に移動できる



『村タク』が最寄り駅・停留所まで乗合しやすいデマンド交通として、**健全に運行**できている
(長距離移動はJR線・相楽東部広域バスに任せることで、限られた担い手で需要に応える)

- ▶ 関係者の連携と役割分担により、交通事業者単独では得られないサービス水準を確保
⇒ 利便性と持続可能性を両立した交通体系の構築を目指す

報告第1号 令和7年度実施事業について

報告第2号 令和7年度収支決算について

協議第1号 令和8年度事業計画（案）について

協議第2号 令和8年度暫定収支予算（案）について

報告第3号 令和8年度「『交通空白』解消等リデザインプロジェクト」の申請状況について

報告第4号 地域公共計画改定に向けた進め方および取り纏めの方向性について

協議第3号 計画改定及び実証事業に係るプロポーザルの実施について